

# いじめ対策等総合推進事業

平成26年度予算額:48億円(平成25年度:47億円)

※【関連施策】は  
含まない

教育再生実行会議(第一次提言)及び「いじめ防止対策推進法」を踏まえ、いじめの未然防止、早期発見・早期対応や教育相談体制の整備及びインターネットを通じて行われるいじめへの対応を充実するため、「いじめ対策等総合推進事業」を拡充し、地方自治体におけるいじめ問題等への対応を支援する。

## いじめ問題への支援体制を構築

(外部専門家を活用した教育相談体制の整備・関係機関との連携強化等)

### 【自治体の取組に対する支援】

#### 幅広い外部専門家を活用していじめ問題等の解決に向けて調整、支援する取組の促進

- ・第三者の立場から調整・解決する取組(100地域→134地域)、外部専門家を活用して学校を支援する取組(100地域→134地域)、学校ネットパトロール等(10地域)(新規)への支援



### 未然防止

(道徳教育等の推進、体験活動の推進)

#### ①道徳教育の抜本的改善・充実

##### 【関連施策】

- ・人としてのより良い生き方について考え、実現する力を育成する道徳教育を目指し、新「心のノート」(仮称)をはじめとする道徳の教材の充実、効果的な指導方法の開発と普及、家庭・地域との連携強化などを実施

#### ②対話・創作・表現活動等を通じた児童生徒の思考力、人間関係形成能力の育成

##### 【関連施策】

- ・対話やディスカッション、創作や表現、ソーシャルスキルトレーニング、ピアサポート等を取り入れた教育活動の実施

#### ③健全育成のための体験活動の推進

- ・児童生徒の社会性を育む農山漁村等での体験活動の取組促進  
(269校→468校)



### 早期発見・早期対応

(外部専門家を活用した教育相談体制の整備・関係機関との連携強化等)

### 【学校の取組に対する支援】

#### ①スクールカウンセラーの配置拡充

- ・全公立中学校に対するスクールカウンセラーの配置に加え、生徒指導上、大きな課題を抱える公立中学校等にスクールカウンセラーによる週5日相談体制を導入し、常時生徒が相談できる体制づくりを推進(200校)
- ・公立小学校の従来の配置に加え、小中連携型配置の導入による公立小・中学校の相談体制の連携促進(200校)
- ・スクールカウンセラーを活用した教員のカウンセリング能力等の向上のための校内研修や児童生徒の困難・ストレスへの対処等の教育プログラムを実施

#### ②スクールソーシャルワーカーの配置拡充

- ・スクールソーシャルワーカー配置の増  
(1,355人→1,466人)



#### ③生徒指導推進協力員・学校相談員の配置拡充

- ・元警察官、元教員等を活用し、課題のある学校等へ派遣(335校)

#### ④24時間いじめ相談ダイヤル

### いじめ対策等生徒指導に係る調査研究等

「いじめ問題への対応など生徒指導上の諸問題への取組」に関する先進的調査研究の実施

### 教員研修の充実・教職員の体制整備の充実

- ①教職員定数の改善 ・少子化時代に対応する教職員配置改善等の推進として教職員定数を改善。その中で、いじめ問題への特別な指導を行う学校への支援のため、加配定数を増

【関連施策】

- ②教員研修の充実 ・教員研修センターによるいじめ問題に関する指導者養成研修の実施 【関連施策】

